

北海道滝川市における基本計画（第2期）の概要

計画のポイント

滝川市は、水稻をはじめとする各農産物の収穫量で北海道内の上位に位置し、特に、なたねの作付面積は北海道内で1位に位置（令和4年度北海道農林水産統計公表）するなど、農業が基幹産業の一つとなっている。高品質な農畜産物がまちの特産品となっていることから、食品関連産業や地域商社分野の経営基盤を強化し、地域活力の増進を目指す。

また、札幌市と旭川市のほぼ中間に位置し、国道12号・38号・451号、北海道縦貫自動車道及びJR函館本線・根室本線が通っていることから、道央・道北・道東・日本海側の主要都市を結ぶ交通の拠点となり、古くから交通の要衝として商業機能や流通機能が発展し、中空知地域の産業の中心として位置づけられている背景から、物流・流通業の集積を生かした、新たな企業の進出及び雇用の安定化を目指す。

さらに、当該地域は、昭和56年の水害を契機に、「グライダーによるまちづくり」を進め、日本有数の本格的航空公園「たきかわスカイパーク」を有するなど、空との親和性の深いまちである。最近では、航空宇宙関連産業の市内進出もみられており、成長産業分野での関連産業の進出、新規投資を促進するとともに、経済活力を維持するための安定した雇用の実現を目指す。

促進区域

北海道滝川市

経済的効果の目標

- ・1件あたり平均47百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を4件創出。
- ・これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.393倍の波及効果を与え、**促進区域で約270百万円の付加価値額を創出**することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～④のいずれか）】

- ①滝川市の北海道縦貫自動車道等の交通インフラを活用した**物流関連分野**
- ②滝川市の農畜産物や特産品を活用した**農業・食料関連産業**
- ③滝川市の農産品等を活用した**農商工連携・地域商社分野**
- ④滝川市の地理的特性を活かした**航空宇宙関連分野**

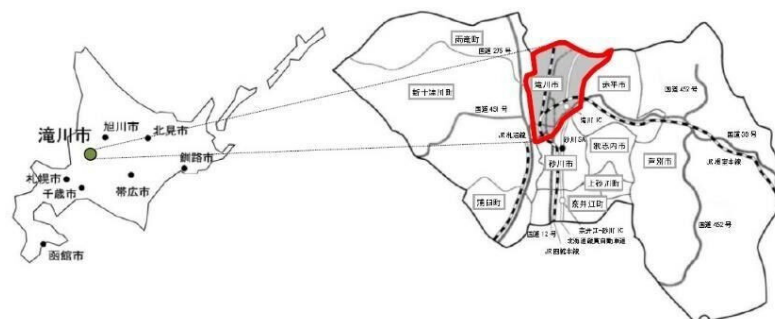
【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：4,611万円超

【要件3：以下の経済的効果が見込まれること】

- ・雇用者数：10.0%増加又は2人増加

《促進区域図》



地域経済牽引支援機関

- ・滝川市産業活性化協議会
- ・滝川商工会議所
- ・(株)北洋銀行
- ・北門信用金庫

制度・事業環境の整備

- ・不動産取得税・固定資産税の減免措置
- ・企業立地促進のための低利融資
- ・産業創造支援事業補助金
- ・北海産業振興条例に基づく助成措置
- ・研究機関や支援機関が有する分析・解析結果、技術等の情報提供
- ・相談窓口の設置 等

計画期間

計画同意の日から令和10年度末日まで